

Q

## 鶴ヶ島市の基本計画について

A

## 透明性を確保しながら進める

山中 基充 議員

**質問一** 市町村の基本構想策定義務が廃止されようとしているが、市としての考えは。

**二** 地に足のついた計画を目指すとのことであるが、具体的にどのように取り組まれるか。

**三** 施設の資産形成、その維持管理はどのように位置付けられるか。

**四** 水土里の交流圏構想の位置付けについて。

**五** 財政計画の明示について。

**答弁一（市長）** 基本構想の策定義務の廃止いかにかわからず、鶴ヶ島の未来をひらいていくために欠かせないものと考えています。  
**二** 後期基本計画についての職員による評価、課題の抽出、類似団体との比較、市民意識調査を実施。また、市民の声を直接聞く機会を設けて計画策定を進めていく。

**三** これら行政改革の取り組みは、第5次鶴ヶ島市総合計画の中に位置付けていきたい。

**四** 水土里の交流圏構想の目的と方向性を整理し、県等とも連携を密にし策定作業を進めていく。

**五** 現行計画では掲載していないが、次期総合計画には分かりやすく示せるように努めていく。

◎**その他の質問**

**一** 鶴ヶ島市の公式ツイッターを

**二** 人とペットが共生できる社会を。小さな命にやさしい社会へ

Q

## 第2次集中改革プランを問う

A

## 市と市民で担う、新しい公共

宮崎 弘子 議員

**質問一** 「新しい公共」について。

**二** 第2次集中改革プランに関して。

**ア** 「地域協働ポータルサイト」と「まちづくりポイント」。

**イ** 公民館への地域コーディネーターの配置と地域自治組織づくり。

**三** ICTを活用する市民が少数

の現状でICT活用に偏る問題。

**四** 小・中学校、公民館等のボランティアの有償・無償の基準は。

**答弁一（市長）** 市民、NPO、

企業、行政など公共を担い合う多様な主体が、それぞれの役割と責任に応じて、自ら考え、主体的に

行動できる環境、仕組みづくりを

進めることにより、「新しい公共」の創造に取り組んでいく。

**二ア** 協働型社会の実現の手段として、地域ポータルサイトやまちづくりポイントを計画に位置付ける。

**イ** 公民館等を拠点として、地域課題の解決や行政サービスの提供が図れるようにする。地域コーディネーターは、情報収集し、市民活動団体をつなぐ機能を果たす。

**三** ICTは、新しい公共を進める道具として、重要である。

**四** 役割や負担の在り方について、市民と行政が一緒になって検討していく。



つるがしまタウンチップのトップページ